

# EU

2021年11月15日

海外調査部

## ■記録的落ち込みからの経済回復は2021年第4四半期を予測

2020年のEUの実質GDP成長率はマイナス5.9%、そのうちユーロ圏はマイナス6.3%だった。EUおよびユーロ圏の成長率は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に落ち込み、EUではマイナス0.7%を記録した2012年、ユーロ圏ではマイナス0.2%を記録した2013年以来のマイナス成長を記録した。EUのGDPを需要項目別にみると、GDPの51.7%を占める民間最終消費支出はマイナス7.3%であった。成長率への寄与度はマイナス3.9ポイントで、前年より4.7ポイント低下した。一方、GDPの22.5%を占める政府最終消費支出は1.4%で、唯一プラス成長を維持した。成長率への寄与度は0.3ポイントで、前年より0.1ポイントの低下にとどまった。輸出の伸び率は前年の2.8%からマイナス8.4%、輸入も前年の4.4%からマイナス8.2%と、輸入の減少幅が輸出よりも大きかった結果、純輸出の成長率への寄与度はマイナス0.4ポイントとなった。

2021年の経済見通しについて、欧州委員会は2021年7月7日に発表した夏季経済予測において、EUおよびユーロ圏の実質GDP成長率をともに4.8%と予測している。EUでは、ワクチンの接種加速により新型コロナ感染状況が改善し、多くの加盟国で移動制限や活動制限などの緩和や撤廃をしており、経済活動の再開が進んでいる。新型コロナ危機以前の経済水準に回復する時期については、EUで2021年第4四半期と予測されているが、経済回復の速度は加盟国によりばらつきがあると見込まれている。EUは新型コロナ対策の特別予算である総額7,500億ユーロに上る復興基金からの財政拠出により、加盟国の速やかな経済回復を後押しすることを旨とする。

表1 EUの需要項目別実質GDP成長率

	2019年	2020年				2021年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
EU (注③)							
実質GDP成長率	1.8	△ 5.9	△ 3.1	△ 11.3	11.8	△ 0.2	△ 0.1
民間最終消費支出	1.5	△ 7.3	△ 3.9	△ 12.3	13.6	△ 2.8	△ 1.7
政府最終消費支出	2.0	1.4	△ 0.1	△ 2.5	4.9	1.0	△ 0.5
国内総固定資本形成	6.2	△ 6.5	△ 4.0	△ 17.7	12.1	2.5	0.3
財貨・サービスの輸出	2.8	△ 8.4	△ 3.0	△ 18.6	16.9	4.2	0.7
財貨・サービスの輸入	4.4	△ 8.2	△ 2.5	△ 19.6	12.7	4.7	0.6
ユーロ圏							
実質GDP成長率	1.5	△ 6.3	△ 3.5	△ 11.7	12.6	△ 0.4	△ 0.3
民間最終消費支出	1.3	△ 7.9	△ 4.3	△ 12.9	14.4	△ 3.1	△ 2.1
政府最終消費支出	1.8	1.4	△ 0.1	△ 2.7	5.6	0.7	△ 0.5
国内総固定資本形成	6.5	△ 7.2	△ 4.5	△ 19.7	13.9	2.8	△ 0.2
財貨・サービスの輸出	2.4	△ 9.0	△ 3.6	△ 18.6	16.6	4.1	0.7
財貨・サービスの輸入	4.5	△ 9.0	△ 2.8	△ 20.2	11.8	4.8	0.4

〔注〕①四半期の伸び率は前期比、季節調整値。

②民間最終消費支出には対家計非営利団体 (NPISH) 消費支出も含む。

③EUは英国を除く27カ国のデータ。

〔出所〕EU統計局 (ユーロスタット)

## ■域内・域外の輸出入ともに大幅減

EU統計局 (ユーロスタット、2021年8月13日時点) によると、2020年のEUの貿易は、輸出が前年比8.2%減となる4兆7,774億6,400万ユーロ、輸入が9.1%減の4兆4,984億4,100万ユーロと輸出入ともに大きく減少した。EUの域内貿易と域外貿易の構成比は、輸出が域内59.6%、域外40.4%、輸入が域内61.9%、域外38.1%だった。

EUの2020年の域内貿易は、輸出が前年比7.4%減の2兆8,451億8,800万ユーロ、輸入が7.5%減の2兆7,840億3,500万ユーロとなり、前年までの増加基調からマイナスに転じた。ユーロ圏では、輸出入ともにそれぞれ8.8%減となった。

EUの2020年の域外貿易は、輸出が前年比9.4%減となる1兆9,322億7,600万ユーロ、輸入が11.7%減の1兆7,144億500万ユーロだった。前年のプラスの伸びから輸出入ともに減少へと大幅に縮小した。

**表2 EUの主要品目別輸出入（域内貿易）**

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	1,143,334	1,040,156	36.6	△ 9.0	1,127,462	1,016,147	36.5	△ 9.9
雑製品	839,925	772,525	27.2	△ 8.0	795,008	730,491	26.2	△ 8.1
化学工業製品	490,883	496,230	17.4	1.1	494,876	497,619	17.9	0.6
食料品、飲料及びたばこ	306,310	304,323	10.7	△ 0.6	302,930	301,624	10.8	△ 0.4
鉱物性燃料・潤滑油など	168,135	111,548	3.9	△ 33.7	168,576	118,114	4.2	△ 29.9
原料別半製品	101,020	96,328	3.4	△ 4.6	105,413	100,981	3.6	△ 4.2
合計（その他含む）	3,071,518	2,845,188	100.0	△ 7.4	3,010,625	2,784,035	100.0	△ 7.5

[注] ①各企業のインボイス報告などに基づく。  
 ②輸出がFOB、輸入がCIFのため、輸出入金額が一致しない。  
 ③EUは英国を除く27カ国のデータ。  
 [出所] EU統計局（ユーロスタット）

**表3 EUの主要品目別輸出入（域外貿易）**

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	871,471	759,400	39.3	△ 12.9	638,029	585,812	34.2	△ 8.2
雑製品	486,207	432,010	22.4	△ 11.1	474,387	443,539	25.9	△ 6.5
化学工業製品	406,808	411,117	21.3	1.1	235,059	232,925	13.6	△ 0.9
食料品、飲料およびたばこ	163,003	166,232	8.6	2.0	117,558	113,410	6.6	△ 3.5
鉱物性燃料・潤滑油など	103,103	63,810	3.3	△ 38.1	363,255	221,948	12.9	△ 38.9
原料別半製品	54,318	53,237	2.8	△ 2.0	80,799	79,433	4.6	△ 1.7
合計（その他含む）	2,131,865	1,932,276	100.0	△ 9.4	1,940,519	1,714,406	100.0	△ 11.7

[注] EUは英国を除く27カ国のデータ。  
 [出所] EU統計局（ユーロスタット）

2020年の域外貿易を品目別にみると、最大輸出品目の機械・輸送機器類（構成比39.3%）が前年比12.9%減の7,594億ユーロとなった。道路走行車両（10.2%）が14.0%減と大きく落ち込んだことが主因だった。化学工業製品（21.3%）は、医薬品（11.1%）が主要輸出先の米国向けで14.2%増、スイス向けで20.4%増などと前年に続き増加し、全体で1.1%増となった。伸び率が最大となったのは食料品・飲料およびたばこ（8.6%）で、食品輸出の11.0%を占める中国向けが31.7%増と大幅に伸び、全体で2.0%増と前年からの伸びを維持した。

輸入は、主要品目の全てで減少した。最大品目の機械・輸送機器類（構成比34.2%）が前年比8.2%減、雑製品（25.9%）が6.5%減と縮小した。最大の落ち込みとなったのは鉱物性燃料・潤滑油など（12.9%）で、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の制限による原油の需要減少などの影響により、38.9%減と大幅減となった。

2020年の域外貿易を国別にみると、輸出入ともにほとんどの国で減少した。輸出はEU域外では最大の輸出相手国である米国向け（構成比18.3%）が前年比8.1%減の3,534億6,900万ユーロとなった。輸出額で最大となった医薬品（20.9%）は14.2%増と大幅に伸びたものの、続く道路走行車両（8.9%）は17.7%減、一般産業機械・機器（6.0%）は11.3%減となった。米国に次ぐ輸出相手国は、これまでの中国から、2020年1月31日にEUを離脱した英国（14.4%）となり、13.2%減の2,776億9,300万ユーロとなった。中国向け（10.5%）は2.2%増と前年に続き堅調に増加した。最大輸出品目の道路走行車

表4 EUの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU域内	3,071,518	2,845,188	59.6	△ 7.4	3,010,625	2,784,035	61.9	△ 7.5
ユーロ圏内	1,972,593	1,799,340	37.7	△ 8.8	1,944,906	1,774,569	39.4	△ 8.8
EU域外	2,131,865	1,932,276	40.4	△ 9.4	1,940,519	1,714,405	38.1	△ 11.7
合計	5,203,383	4,777,464	100.0	△ 8.2	4,951,144	4,498,441	100.0	△ 9.1
EU域外								
EU加盟候補国	92,569	92,449	4.8	△ 0.1	88,284	79,533	4.6	△ 9.9
トルコ	68,265	69,892	3.6	2.4	69,812	62,439	3.6	△ 10.6
英国	320,025	277,693	14.4	△ 13.2	194,357	167,502	9.8	△ 13.8
スイス	146,536	142,371	7.4	△ 2.8	109,871	108,620	6.3	△ 1.1
ロシア	87,760	79,004	4.1	△ 10.0	145,052	94,987	5.5	△ 34.5
アジア大洋州	514,253	483,793	25.0	△ 5.9	683,802	679,051	39.6	△ 0.7
中国	198,498	202,882	10.5	2.2	363,429	384,009	22.4	5.7
ASEAN	85,304	69,217	3.6	△ 18.9	125,407	120,310	7.0	△ 4.1
シンガポール	28,897	24,006	1.2	△ 16.9	17,974	17,096	1.0	△ 4.9
タイ	13,553	11,408	0.6	△ 15.8	19,687	17,730	1.0	△ 9.9
マレーシア	12,975	10,551	0.5	△ 18.7	23,688	24,760	1.4	4.5
日本	62,662	55,178	2.9	△ 11.9	62,986	54,946	3.2	△ 12.8
韓国	43,362	45,329	2.3	4.5	47,426	44,100	2.6	△ 7.0
インド	38,198	32,159	1.7	△ 15.8	39,578	33,022	1.9	△ 16.6
オーストラリア	30,820	28,945	1.5	△ 6.1	8,248	6,829	0.4	△ 17.2
北米	423,871	387,693	20.1	△ 8.5	256,604	223,933	13.1	△ 12.7
米国	384,690	353,469	18.3	△ 8.1	234,951	202,898	11.8	△ 13.6
カナダ	38,326	33,490	1.7	△ 12.6	20,996	20,393	1.2	△ 2.9
湾岸協力会議 (GCC) 諸国	78,021	67,550	3.5	△ 13.4	43,306	29,662	1.7	△ 31.5
アラブ首長国連邦	29,876	25,983	1.3	△ 13.0	7,249	8,647	0.5	19.3
ブラジル	32,260	27,696	1.4	△ 14.1	27,077	24,944	1.5	△ 7.9
南アフリカ共和国	22,900	17,593	0.9	△ 23.2	18,990	16,467	1.0	△ 13.3
合計 (その他含む)	2,131,865	1,932,276	100.0	△ 9.4	1,940,519	1,714,405	100.0	△ 11.7

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
 ②EU貿易統計の金額は、輸出がFOB、輸入がCIF。そのため域内貿易で輸出入金額が一致しない。  
 ③EUは英国を除く27カ国のデータ。  
 ④EU加盟候補国は、トルコ、セルビア、モンテネグロ、北マケドニア、アルバニア。  
 [出所] EU統計局 (ユーロスタット)

両 (14.9%) は1.7%増だったほか、電気機器 (12.7%) と医薬品 (6.5%) がそれぞれ5.9%増、12.5%増と拡大した。また、韓国向け (2.3%) は4.5%増となり、最大品目の道路走行車両 (18.2%) が16.8%増と大幅に伸びたことが主因となった。

2020年の域外貿易の輸入では、最大輸入元の中国 (構成比22.4%) が前年比5.7%増の3,840億900万ユーロとなった。主要品目のうち通信機器 (16.6%) が3.4%増と堅調だったほか、電気機器 (13.9%) が5.7%増、事務用機器 (12.2%) が8.6%増、繊維用繊維の糸・関連製品 (7.1%) が2.95倍となり輸入を牽引した。続く米国 (11.8%) は13.6%減と、輸出同様大きく減少した。最大品目の医薬品 (12.8%) が10.7%減、原動機 (9.0%) が28.6%減となったほか、航空機を主とするその他の輸送機器 (6.3%) が39.6%減と大幅に縮小した。ロシア (5.5%) は、輸入の63.2%を占める鉱物性燃料が39.8%減と、前年の9.0%減からさらに大きく落ち込んだ結果、全体で34.5%減となった。

## ■EU離脱後の英国とEU間の通商・協力協定に合意

英国は2020年1月31日にEUを離脱した。EUと英国との間で締結された離脱協定により、EU離脱後のビジネス環境の混乱を避けるための緩和措置として同年12月末まで移行期間が設けられ、英国はEUの単一市場と関税同盟にとどまった。その間、EUと英国との間での将来関係に関する新たな協定の交渉が行われ、移行期間終了間際の同年12月24日にEUと英国は通商・協力協定 (TCA) に合意した。同協定は①自由貿易協定 (FTA)、②市民の安全確保のためのパートナーシップ、③ガバナンスに関する水平的協定、の3つの柱で構成され、全品目で関税および関税割り当てが撤廃された。同

年中に英国側の批准手続きと、EU側の暫定適用の手続きが終了し、2021年1月1日から同協定の暫定適用が開始された。その後、EU理事会（閣僚理事会）は欧州議会の同意を経て、同年4月29日に批准決定をし、同年5月1日に正式発効した。しかし、EU離脱協定に付随するアイルランド・北アイルランド議定書（以下、議定書）の運用をめぐる諸問題や、新型コロナウイルス感染拡大に伴うサプライチェーンの混乱も受け、EUと英国との間には現時点で引き続き課題が残っている。北アイルランドは英国の関税領域でありながら、EU規則が適用される地域となったため、英国内のグレートブリテンからの食品移送においてEUの衛生証明書が必要になるなど、議定書の運用に関して、EU・英国間での協議が続いている。

2020年のEUの対英貿易の傾向をみると、輸出は前年比13.2%減、輸入は13.8%減となった。2019年は、英国のEU離脱期限が3月末と10月末に2度延期され、離脱後の混乱に備えた備蓄や在庫の積み増しが集中したことにより、飲料食品、化学品、工業製品を中心に、EU・英国間の貿易も大きな影響を受けた。2020年1月末の英国のEU離脱後の対英貿易をみると、離脱協定の締結により年末まで移行期間が導入されたものの、直後の2月の対英輸出は前年同月比で13.3%減、対英輸入は5.0%減と、輸出入ともに減少した。新型コロナウイルス感染拡大が欧州で深刻化したことと、移行期間終了後の新協定の交渉が難航したことなどが影響し、輸出入ともに大幅な減少基調が第4四半期まで続いた。それぞれの減少のピークは対英輸出では4月の38.4%減、対英輸入では5月の32.8%減となった。その後11月に、対英輸出は11.0%増とプラスに転じ、対英輸入は1.2%減とほぼ横ばいの水準に回復した。

## ■対内、対外直接投資ともに前年比7～8割減の大幅な減少を記録

国連貿易開発機構（UNCTAD）によると、EU加盟国への2020年の対内直接投資（EU加盟国間の投資も含む）は、前年比72.9%減となる1,031億9,000万ドル（国際収支ベース、ネット、フロー）だった。オランダが1,153億ドルの引き揚げ超過となったことが大きく影響したほか、27加盟國中19カ国で対内直接投資額が前年から減少した。2020年末時点のEU加盟国の対内直接投資残高は11兆5,633億9,700万ドルだった。2020年のEU加盟国へのグリーンフィールド投資件数の合計は4,564件で、ドイツ、フランス、スペインの順で件数が多かった。また同年のEU域内企業を対象とするクロスボーダーM&Aの合計は1,907件だった。前年に比べ、グリーンフィールド投資件数は812件、クロスボーダーM&Aの件数は630件減少した。

大型M&A案件としては、2020年7月の英投資ファンドのシンベン率いる投資ファンドによるドイツ機械大手ティッセン・クルップのエレベータ事業の買収（172億ユーロ）、8月の米国の動物用製薬エランコ・アニマル・ヘルスによるドイツ医薬バイエルの動物用薬品事業の買収（68億9,000万ドル）などがあった。

UNCTADによると、EU加盟国の2020年の対外直接投資（EU加盟国間の投資も含む）の合計は、前年比77.5%減の917億2,200万ドル（国際収支ベース、ネット、フロー）だった。2020年末時点の対外直接投資残高は13兆4,077億1,400万ドルとなった。同年のEU域内企業によるクロスボーダーM&A件数は1,507件だった。大型M&A案件としては、2020年3月に完了したオランダのITサービス大手インターシオンによる米国の同業デジタル・リアリティの買収（84億ドル）、4月のオランダの食品



デリバリー会社テイクアウェイドットコムによる英国の同業ジャストイートの買収・合併（62億ポンド）、5月のドイツ自動車部品製造ZFによる米国の商用車ブレーキ製造ワブコの買収（70億ドル）などがあった。

域内の大型案件としては、7月のフランスの電機大手シュナイダーエレクトリックによるドイツの建設業向けソフトウェア開発RIBソフトウェアの買収（14億ユーロ）、12月のポルトガル電力公社（EDP）によるスペイン電力中堅ビエスゴの買収（27億ユーロ）などがあった。

## ■対日貿易も主力の機械・輸送機器類を中心に輸出入ともに大幅減

2020年の対日貿易は、輸出が前年比11.9%減の551億7,800万ユーロ、輸入が12.8%減の549億4,600万ユーロだった。前年は輸出が8.4%増、輸入は5.7%増で、2019年2月1日に発効した日EU経済連携協定（EPA）による効果も手伝って、対日貿易は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大により輸出入ともに大きく落ち込んだ。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械・輸送機器類（構成比35.3%）は前年比20.8%減と大幅な減少となった。そのうち、最大品目の乗用車（10.2%）は20.2%減と前年の1.8%減から減少幅が18.4ポイント拡大し、自動車用部品（1.7%）も28.0%減と前年からさらに減少した。前年に2.5倍の伸びをみせた航空機・関連機器（2.8%）は、59.0%減と減少に転じた。一方、通信機器（2.4%）が32.0%増と前年に続き拡大した。化学工業製品（23.9%）は3.5%減で、主力品目である医薬品（14.3%）が4.3%減と前年までの増加から減少に転じたことによる。前年に32.8%増と著しい伸びを記録した飲料・たばこ（4.8%）は2.1%増と堅調に伸びたものの、ワインは10.7%減、スパークリングワインは20.8%減、ウイスキーは60.0%減となり、前年は好調に増加した主力のアルコール飲料が一転して大幅に減少した。

表5 EUの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器類	24,622	19,501	35.3	△ 20.8	42,010	34,891	63.5	△ 16.9
化学工業製品	13,684	13,208	23.9	△ 3.5	7,314	7,788	14.2	6.5
雑製品	9,314	8,230	14.9	△ 11.6	7,713	7,193	13.1	△ 6.7
食料品・動物	4,166	3,932	7.1	△ 5.6	212	211	0.4	△ 0.1
原料別半製品	3,941	3,488	6.3	△ 11.5	4,289	3,644	6.6	△ 15.0
飲料・たばこ	2,583	2,638	4.8	2.1	79	74	0.1	△ 6.5
合計 (その他含む)	62,662	55,178	100.0	△ 11.9	62,986	54,946	100.0	△ 12.8

[注] EUは英国を除く27カ国のデータ。  
[出所] EU統計局(ユーロスタット)

2020年の対日輸入は、機械・輸送機器類（構成比63.5%）が前年比16.9%減と輸出同様に減少した。そのうち、乗用車（14.7%）は24.5%減、自動車部品（5.1%）が23.8%減、バイク（3.3%）も6.3%減といずれも前年の伸びから減少に転じた。化学工業製品（14.2%）は、有機化合物（4.3%）が4.5%増、医薬品（2.7%）が40.8%増と伸長したことにより、全体で6.5%増となった。飲料・たばこ（0.1%）は6.5%減となった。飲料の6割以上を占めるウイスキーが2.7%減、1割強を占める日本酒などの発酵酒が9.0%減と、前年の大幅増から一転減少に転じた。一方、飲料の1割弱を占める清涼飲料水などを含むノンアルコール飲料が48.4%増と大幅増となった。

## ■日EU間の直接投資は製造業を中心に後退

財務省によると、2020年の日本の対EU直接投資額は、前年比73.9%減となる1兆9,223億円だった。製造業が3,509億円、非製造業が1兆5,713億円で、業種では通信業の3,399億円、金融・保険業の5,056億円が大部分を占めた。製造業では鉄・非鉄・金属が1,313億円の引き揚げ超過となった。2020年の日本のEUからの直接投資受入額は270億円だった。輸送機械器具で1,475億円の投資があった一方、化学・医薬での2,169億円の引き揚げ超過が響き、製造業全体では742億円の引き揚げ超過となった。

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp